

**仕** 事場が新宿から神保町に移りました。

神保町は古い町で、古本屋、喫茶店など、何十年も続いている店が残っています。

高層ビルの立ち並ぶ新宿と違って、落ち着いた雰囲気があります。

学生の頃から参考書などを買いにきていましたが、当時とあまり変わっていないようです。

本の町ですが、一番変化があったのは書店かもしれません。電子書籍やネット販売の影響でずいぶん変わりました。静かな書店の一階にコーヒーチェーンが入っていて、ちょっと驚きました。

小さな喫茶店はそのままで、あまり時代に左右されていないような気がします。

歩いていると、新宿と神保町は同じ東京とは思えないくらい景色が違ふと感ずます。

なによりも、ビルの規模が違います。神保町界隈で大きいビルは大学くらいです。

都心の一等地に小さなビルがいくつもあります。

商業的にはもったいない使い方もかもしれませんが、こういう場所も東京に残ってほしいと思います。(M.K)

**昨** 年春の人間ドックで便潜血検査の結果が2日間とも陽性だったのですが、日常生活には何の変化も

なかったため、いつの間にか忘れていました。その夏、軟便が1カ月ほど続き、そういえばドックで引っかかっていたなと思ひだし、不安に駆られて再検査を受けたところ、内視鏡検査で直腸がんが見つかりました。大きくはなかったものの悪性だったため、出来るだけ早く切除しようということで、昨秋、直腸がんの手術に実績のある病院へ1カ月弱入院し、切除しました。

進行度合いはステージ1で転移もなく、抗がん剤を使う必要もありませんでした。患部縫合後の感染症予防のため、ストマを増設し半年間不自由な生活を送ってきたのですが、それもやっと今年6月の再入院で閉鎖することができ、やっと五体満足になりました。

ストマ痕の傷口はまだ完全ではないのですが、自然にふさがるのを待っているところで、今は毎日の通勤電車がつらいところです。

入院で不在の間、「Raisers」を滞りなく発行できるよう尽力してくれたKさん、その他の私が抱える業務を問題なく回してくれた職場のみなさんに感謝するとともに、年1度の人間ドックは必ず受けて、何か引っかかるようであれば、必ず再検査も受けるべきだなと思う今日この頃です。読者の皆様もぜひ人間ドックを受けられることをお勧めします。(Y.H)

### こんな時が危ない!

- 工事繁忙期よりも、終期、特に撤収作業時
- 非常に危険と思われる作業よりも、それほど危険と思われない作業時
- 同一作業が長く続くよりも、1日~2日とか半日、あるいはもっと短時間で終わる作業時
- わかりきった常識的な作業手順を守らない時
- 作業時に積極的な人が、指示以外の作業をした時
- 安全設備を取りつける段取りに取りかかる前
- 教育を十分うけているはずの職長や工事監督がルール無視の行動をした時
- 立入り禁止箇所、危険箇所を承知して、そこへ行った時

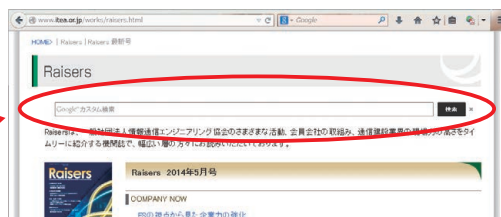
「Raisers」はホームページでも閲覧可能です!

「Raisers」の最新号から過去記事までホームページで閲覧することができます。

<http://www.itea.or.jp/works/raisers.html>

また、ホームページ内の検索窓から

読みたい記事の関連キーワードにより全文検索も可能です。是非ご活用ください。



Raisers第65巻第4号(通巻第725号) 平成29年7月5日印刷 平成29年7月10日発行

定価648円(本体価格600円) ※会員、特別会員の本誌の購読料は、会費の中にこれを含む

■編集 一般社団法人情報通信エンジニアリング協会 〒150-0033 東京都渋谷区猿楽町3-3

Tel. (03) 3464-3211代 Fax. (03) 3464-3216

■発行所 一般社団法人電気通信協会 〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-1-1 如水会ビルディング6階

Tel. (03) 3288-0608 Fax (03) 3288-0615

(本誌掲載記事の無断転載を禁じます。)

